



黒沢紹介

黒沢湿原は徳島県三好市池田町漆川(しつかわ)の標高550mのところにある盆地です。周囲は標高600m前後の山に囲まれています。盆地の70%ほどは湿地になっていて、この一帯を黒沢湿原と呼んでいます。黒い土と沼の低湿地であることから「くろさわ」といわれていましたが、それがなまっていつの頃からか「くろぞう」と呼ばれるようになりました。黒沢湿原は南北に細長い湿地帯で、南北は2km、東西所により100m~300mほどあり、面積は約40ヘクタールあります。北から南に向かってゆるやかに傾斜し、東側には小溝があって湿原の水を集め、南端は滝となって松尾川に注いでいます。



この湿地は、もともと粘土層の上に水が溜まり、火山灰や腐植土がたい積してできた沼地で、深さも1M以上もありましたが、たい積物も増し、水量も少なくなって、深い沼地もすっかり浅くなってしまいました。しかし、その規模からいっても、植物の多様さからしても、四国では唯一のかけがえない貴重な湿原です。

黒沢湿原に足を踏み入ると、こんな山頂に、こんな広大な湿地のあることにまず驚かされます。そして低地とは異質な風土が、強く印象に残ります。ここには四季折々に、いろいろな珍しい野草が花を開きます。しかし漫然と見ただけでは、季節によっては単なるアシ原にしか見えません。が、腰をおろしてあたりを見回すと、美しい小さな花の姿がしだいに浮かび上がってきます。

昭和40年(1965)3月、サギソウほか多数の湿原植物群落の貴重さが認められ、徳島県の天然記念物に指定されました。しかし、一部の専門家や愛好家に知られても、一般の人々には関心も薄く、訪れる人も多くはありませんでした。最近になって、自然保護についての意識が高まり、黒沢湿原の植生が強く見直されるようになりました。



●お車で所要時間・距離



●JR新幹線・在来線所要時間



■お問い合わせ

三好市役所 <商工観光課>

Tel. (0883) 72-7620 (8:30~17:15 土、日、祝日は除く)
Fax. (0883) 76-0203

URL <http://www.city-miyoshi.jp>

〔平成18年7月作成 5,000〕

徳島県三好市 くろぞうしつげん 黒沢湿原



さぎそうくん

交通アクセス



湿原内案内図



春 Spring 夏 Summer 秋 Autumn の野草

